

つくしだよりから

もうひとつの「子どもの日」

さくらの時季もよいですが

つくしの元気な子どもたちには

太陽の光が新緑をきらきら輝かせる

初夏の今がやっぱりお似合い

新しいグループにもようやく慣れ

お庭から毎日楽しそうな声が響いています。

さらさら流れる川面からふと目をあげると

まるでたったいま川から跳ね上がったように

大小さまざま、カラフルなコイたちが空を舞って

います。そう、鯉のぼり。

もうすぐ、こどもの日ですね。

幼児たちお手製の「つくしのコイ」は

いつも横に並んで仲良く泳いでいます。

そうそう、実はもうひとつ「子どもの日」が

あるってご存知でした？

花の日・こどもの日。

約150年前のこの季節、米マサチユージェツの教会で始まったキリスト教の「こどもの日」。ちようど、きれいなお花が咲く時季でもあったため、たくさんのお花を礼拝堂に飾り、子どもたちを真ん中にみんなで神さまを讃美します。

この花のように、美しい自然をお造りになった神さまの愛。その同じ愛が

この子どもたちにも注がれていることを

みんなで確認し、神さまに感謝する。

5月、お庭のチャペルでも花の日こどもの日」を祝います。皆さまも、おうちに咲く花を少しずつ持ち寄って礼拝堂をきれいに飾り、

一緒に楽しく初夏の日曜日をすごしませんか？